

奈良の都・平城京

七一〇年、元明天皇が今の奈良市に都を移します。唐の都の長安にならってつくられた平城京に都をうつしたのでした。これから約七〇年間を奈良時代とよびました。それは、ききんや病気の流行であり、住んでいた藤原京を捨てて、新しい場所に住んだのでした。

それまでの天皇の時に何度か都を移しています。天智天皇が飛鳥から大津に(六六七年)、弟の天武天皇が再び飛鳥に(六七二年)、次に奥さんの持統天皇が藤原京に(六九四年)そして、元明天皇の平城京と続きます。

平城京は、南北4.2km、東西4.2km。中央の朱雀門から南北にのびる朱雀大路は、道幅が七〇mもあり、都を左京、右京に分けていました。天皇の住まいや役所のある大内裏がありました。平城京の中には、瓦屋根、白壁、朱塗りの柱の貴族の住まいや、飛鳥から移した寺院が建ち並びました。

都を移すことは想像しただけでも、大がかりなことでした。天皇の移動だけでなく、そこに住んでいた貴族、多くの市民、そして農民など、新しい場所に家を建て、生活を始めなければなりません。その農民の生活は、山上憶良の歌にもあるように、大変苦しいものでした。庸・調を都に運ぶと中に、食べ物がなくなつて行き倒れになる者、病気になる人も多く出

香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集「みんな」第19号 2020.6.15(月)

ました。天皇や貴族のきらびやかな生活とはちがいで、農民の生活は厳しいものだったのです。奈良時代になり、都を飛鳥から奈良に移したのですが、貴族の争い、天然痘の流行はおさまることはありませんでした。聖武天皇は仏教の力で世の中の不安を鎮めるために、大仏を造ることになったのでした。

☆授業の感想から 6/12



・行基はみんなのために法律までやぶつて、道や水路、橋などいろいろ造ってくれた。それで、聖武天皇は行基の活動を認めて、大仏を造るのを助けたのはすごいと思いました。(高山)

・仏教を信じて大仏まで造るなんて、すごい力だなどと思った。昔は機械などなかったのが、大人数でやったとしても、苦労したと思うし、大がかりだったので、きっと死者もたくさん出たと思う。(八田)

・昔の人は今よりも技術が進歩していないのに、気の骨組みや、外型やかした銅を使って、大体二十mぐらいの大仏を作って、その後金を使つて、すごく大変だったと思いました。とてもすごいと思いました。(岡田)

・私は奈良の大仏を見たのは一度だけど、この大きさは、造るのにすごく大変だったんだろうと思いました。こんな大きな大仏をだれが造ろうと思ったのか気になっていたのが、知れてよかったです。(下田)

・ぼくは、朱雀門の前の道がとても大きいなと思いました。はばが七十mと、道ぞいにある川とかみぞが、六mあるそうで、ぼくも見たいと思いました。(岩本ひ)

・農民はずっとびんぼうな生活をしているのに里長がムチをもって、おどして税を取ろうとするなんて、とてもひどくてかわいそうだと思った。そんな時代だったのが分かった。(大武)

・今では黒い色になっている大仏も、当時はきらきらという絵を見て、それだけ古くからあるんだなと思いました。(磯田)

あきよし奈良の都は咲く花の

にほきがごとく今さかりなり

(小野老)



作：倉谷光羽



□「もしぼくが旧石器時代に生きていたら」

磯田大雅

もしぼくが旧石器時代に生きていたら、かりなどをしていたと思います。今では当たり前のように買える魚や肉も、この時代には買えないからです。

かりに行ったら、ゾウやシカなどを仲間達と取っていたかもしれません。ゾウは、ぬかるみに追いこんだらいいと、授業で聞いたので、そんなことも出来たらいいと思いました。食べ物に困った時は、その辺の小動物などをつかまえて食べていたと思います。

今は、勉強をしないとイケなかったり、食べ物を買うためにお金を使わなければいけないので、ぼくは、旧石器時代の方が良いです。

□「縄文時代はぼくの時代」 安川颯泰

ぼくが、縄文時代に生まれていたら、魚をしたいと思います。なぜなら、かりをしたら、絶対に大けがをするからです。それに比べて、魚は安全です。新鮮な魚がたくさん食べられます。

縄文時代にいたら、ほとんど自由に暮らせませす。縄文時代生きていたら、もう一つしたいことは、物を作ることです。つり道具や土器をいろいろ作りたいです。自分で作ったものだから、大事にできそうです。

縄文時代は、ぼくの時代です。

□「もしも自分が縄文時代にいたら」

上田隼平

ぼくが縄文時代にいたら、動物の狩りはどうできていないので、木の実を集めていたと思います。その木の実を洗って食べていたと思います。他にも、魚を土器でいたためていたと思います。

冬とかは、動物や魚がないので、食料がなのまま寒がっていたと思います。じゅ命もそんなに長くないので、もっと長く生きたいと思っていたし、仕事がいそがしすぎて、死にかけていたと思います。縄文時代に生まれたぼくは、「縄文時代に生まれたくなかった。」と言っていたと思うし、家族や妹とも同じ事を言っていたと思います。

とにかく、縄文時代は大変な時代で、今の令和とは、ぜんぜんちがった時代だということが分かりました。

□「飛鳥時代のぼくの祖先」 戸川翔太

ぼくは、飛鳥時代のぼくの祖先を想像して書くことにしました。

ぼくの飛鳥時代の祖先は、遣隋使の船に乗っていたと思います。なぜなら、ぼくの性格は、聖徳太子のように、人をうまく導けないし、蘇我氏のように、権力も余りほしくありません。遣隋使のような遠い国に行つて、偉い人に手紙を渡すようなのが、ぼくの性格に似ていると思ったからです。だから、飛鳥時代のぼくの祖先は、遣隋使の船のりだったと思います。

ぼくの祖先は、遣隋使としてがんばったと思うので、ぼくも功績のある人に育っていきたいです。

【考古学のお話⑦】—日本人と犬—

「犬が米を食べていた」のはどうしてか？これに対して、いろいろなおもしろい予想ができるでしょう。これも、学者によってちがいで、いろいろな説があるようです。

—学者たちの考え—

①みつき物としての犬説

犬と言っても、中国(唐)や朝鮮(新羅)から送られてきた貴重な犬だったため米をあげて大切にしていたという説。

②犬を食べていた説

犬に米を食べさせたのは、太らせるためだった。昔の本には「菓子・飯は犬を肥やす」と書いてあるし、太った犬は狩りなどの役に立たないという説。

③鷹狩り用の犬説

昔は、鷹狩りが貴族の間ではやっていた。鷹を使って狩りをするのが貴族のお遊びだったのだ。その時にえものを追うための犬が必要で、その犬のエサとして米(かゆ)が良いとされていた。肉の味を犬に覚えさせたら、鷹がしとめたえものを犬が食べてしまうと考えられていたため、犬に肉をあげずに米をあげていたというのだ。

この三つの説のうち「鷹狩り用の犬説」が有力なようですが、みんなは、これらの学説についてどう思いましたか？

委員会のはじめ

―クラスをはなれた所での活やくに期待―

委員会が始まりました。初めての委員会で、何人かが委員長や書記になったようです。立候補してなれなかった人もいたようですが、やろうと言う気持ちをもってくれただけで、先生はうれしく思います。その前向きな気持ちをこれからの委員会活動でも大切にしたいです。

前にも言っていたように、委員会活動は学級での当番活動にあたります。どちらかと言うと、クラブとちがってありがたい仕事かもしれない。しかし、委員会がなければ学校が動かないし、なくてはならない仕事です。その大切な役割をするのが五・六年生なのです。初めての委員会では、それぞれの人が仕事をもちってきたことでしょう。中には、休み時間にしなければならぬ仕事があるかもしれません。クラスをはなれた他の場でも力を発揮してほしいと思います。

栽培委員会

私は人前で話すのは余り得意ではありません。余りにも委員長が決まらなかつたので、書記の子

香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集「みんなで」第20号 2020.6.16(火)

が決めることになりました。それで、私が指名されて、本当に驚きました。多分、二年間やってきたからだろうと思います。委員長は、みんなの中心なので、(しつかりしないと)と思ってしまい、あせってハキハキと話せませんでした。これからは、委員長としてがんばっていきます。(藤岡)

安全委員会

安全委員会では、立ち入り禁止の看板をつけたり、昼休みに、給食室のわたりろう下で、走っている人に声かけをしたりします。安全委員会は楽しくに思っていたけど、結構大変そうです。あと一年の安全委員会をがんばります。(上田)

美化委員会

ぼくは、美化委員会で、学校をキレイにするために努力をしたいと思えます。美化委員でしかできない所のそうじや、トイレのスリッパを並べる、ゴミが落ちていたら拾うなどのことをしていきたいです。(大武)

図書委員会

私は図書委員会に入って、委員長になりたいと思ったので手をあげました。他の人は手をあげなかつたので、私が委員長になりました。図書委員のめあては、「学校にいるみんなが図書室を好きになってもらう」です。図書委員のみんなできよりよくするためにどうすればいいかを考えました。(菅野)

運動委員会

運動委員会では、体育で使う道具の名前を紙に書いて、「ここにあります」というプレート用の紙を作りました。ぼくは、跳び箱が動かないようにするためのすべり止めを書くことになったけど、どんなイラストをかいたらいいのか、分かりませんでした。(高山)

放送委員会

委員会では、委員長と副委員長、放送室のルールを決めました。初めはなんだかイヤだと思っていた放送委員会だったけど、なんだか楽しそうです。これからの活動も楽しみです。(西野)

集会委員会

私は去年も集会委員会だったので、どんなことをするのかは分かっていました。驚いたのは、六年生はほとんどが去年のままで、四人しかかわっていませんでした。今年もおもしろい企画をしたいと思います。(久保)

給食委員会

給食委員会の仕事は、給食の放送、給食のトレ―などをきれいにする、ポスターづくり、月目標をみんなに伝えることです。私は副委員長に立候補したけど、ジャンケンで負けてしまって、くやしかつたです。でも、私は書記に選ばれました。これからも給食委員会の活動をがんばっていきます。(奥谷)

健康委員会

・決まったのは、森口さんが委員長になりました。私は副委員長をやりましたかったけど、五年生だったので残念でした。話したことは、トイレトップペーパーのつけかえ場所のことです。私は北館の三階が担当になりました。今日初めて行ったとき、「あっ、こんなふうにするんだ。」と、やり方が分かってよかったです。健康委員会に入って良かったです。

(岩本な)

ボランテニア委員会

・ぼくは、委員長にはなれませんでした。ぼくは、二期期からは、玄関前のそうじが始まります。それが、どういく感じでやるのか分からないけど、楽しみです。今日は、せん風機を各教室に配りました。

(酒井)

掲示委員会

・掲示委員会でする主な仕事は、季節に合わせて、スイカやクリなどを作ったり、掲示にしていたものを外し、その季節に合ったポスターなどを行います。今日は、掲示していた物をはがしに行きました。最初は忙しかったけど、二つの所に行くにつれて、仕事が楽しくなってきました。まだまだ色々な作業が残っているけど、みんなでがんばって行きたいです。

(渋谷)

みんなの日記がう



□「もしぼくが弥生時代に生きていたら」

岩本響

もしぼくが弥生時代に生きていたら、米づくりをしてみたいです。なぜ米作りをしてみたいかと言うと、今は機械があるから楽ちんだけど、昔は無かったから、どんな苦勞をしたのか知りたいからです。

ぼくは、弥生時代がとても不思議な時代だと思います。いろいろな不思議な石が見つかったり、大きな石をけずったり、のせたりしたことに関心しました。

これからも、弥生時代のことをどんどん学びたいです。

□「もしぼくが古墳時代に生きていたら」

大武優介

ぼくがもし古墳時代に生きていたら、大仙古墳みたいなとてもでかい前方後円墳や、ピラミッドのような方墳を造ってみたいです。

なぜかと言うと、大山古墳を家のテレビで初めて見た時、とても大きくて、きれいだったから、ぼくもあんな大きな古墳を造ってみたいなと思ったからです。

方墳の古墳は、造るのが一番難しそうです。石をどんどん積み上げて行って、最後の一個

を積み上げていた時、上から見た景色はとてもきれいだっと思います。

両方の古墳とも、とても時間がかかると思うけど、完成した時の達成感、古墳を造った人しか味わえない、とてもすごいものなんだと思います。もしぼくが古墳時代に生きていたら、えらい人の古墳を造って、達成感を味わいたいです。

□「もし私が弥生時代に生きていたら」

下田瑠菜

私は服を作りたいです。機織りの技術が伝わったり、せん色が伝わったりしたので、服を作ってみんなに渡すと言うことをしたいです。だけど、えん色が伝わっていたのにも関わらず、弥生時代の人は白の布のものだけを着ていたらしいです。それは、争いがあった、生きることに関心が高かったから、おしゃれを楽しむことができなかったからだと思います。

そこで、私はおしゃれについて教えるような講座のようなものを開きたいです。子どもは大人が争っていて、悲しいと思うから、少しでも楽しい時間を作りたいなと思います。

他にも、お祭りを開きたいです。弥生時代には祭りが行われていたらしいです。今の時代とちがって豊作を願う、収穫に感謝すると言う祭りです。昔と今では目的がちがうんだなと思います。



香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集 「みんなで」第21号 2020.6.17(水)

マットのないマット運動

その②

今週から、マットを使用できなくなったのですが、四年五年でやってきたことは、マットがなくても出来ることなので、今回もマットのないマット運動をやりました。

動物歩きで側転につながるものが「ゾウさん」です。手の着く順番を「足ー手ー手ー足ー足」とし、手から足の、または、足から手の体重移動をします。この時は、足のひざが曲がっていても構いません。順番通りできるようになってきたら、ひざをのばして振り上げるようにします(振り上げ足)。さらに、はじめのふみこみ足を交差させると、側転で着く足の順番になります。なかなか、足が振り上がらない人は、跳び箱を使って足を振り上げる練習をしましょう。

(跳び箱も今週から使えるので。)

その後で、「大また歩き側転」を行いました。側転は、「足の振り上げ+体重移動」ですが、多くの人はひざをピンとのばした側転ができていました。側転をした後は、前を向くことも忘れないようにしましょう。



☆授業の感想から 6/15



・側転がまっすぐできていなかったため、今度やる時はまっすぐやりたいです。あと足もまっすぐに伸ばしたいです。今度やる時まで練習します。

(中岡)

・五年の時よりも、側転も「ゾウさん」もふつうにできていました。側転は、五年の時、何回も先生を教えてもらっていたので、その言われたことを思い出してやっていました。次は他の技もうまくやりたいです。

(上田)

・今日やった中で、側転の手をつく位置や足を伸ばすのが難しかったです。

(渋谷)

・側転は四年のころからとても苦手で、全然できていなかったけど、自分なりに、四年の時よりうまくできていたので、とてもうれしかったです。

(土家)

・側転はとても難しかったです。足がまっすぐ上からず、全体が丸くなっていましたので、次は、足を真っ直ぐすることを意識してやります。

(藤岡)

・「ゾウさん」は前に手を出しすぎると難しいと思った。足を出しすぎると倒れてしまうし、マットがないからこけたら危ないと思った。(戸川)
 ・五年生の時は全然側転ができなかったけど、今回初めてできました。とてもうれしかったです。

(三瀬)

・私は逆立ちができるけど、側転ができていないのでいっぱい練習したいと思います。(岩本な)

・足―手―手―足―足のリズムよく手足をつけるのが難しかったけど、何回もやっていたら、勝手にできようになった。
(塚本)

・久しぶりに測定をしました。「ゾウ歩き」はちょっとこわかったけど、できたのでよかったです。側転はとても楽しかったです。
(喜沢)

みんなの日記から



□「もしもが弥生時代に生きていたら」

堀川太陽

まず思う事は、弥生時代にはゲーム機や自転車など、現在あるものは余りないと思います。だからすぐくお手伝いをしていたり、生き物にふれ合ったりしていたと思います。それも今絶めつしている生き物もたくさんいたと思います。

もう一つ思う事は、今とちがって危ないことです。弥生時代は争いが起こっていた時代だから、どこかの豪族に支配されていたかもしれないし、見たことのないきょうぼうな生き物もあるかもしれません。現在とちがって便利なものがないから、ケガしているかもしれません。

最後に考えたことは、米作りです。今も米を作っている人は近所にいるのですが、その人は機械などを作っているの、手作業で作っていた弥生人はすごいなと思いました。

今とちがって大変な弥生人は本当にすごいなと思います。

□「もしぼくが弥生時代に生きていたら」

西野一翔

ぼくが弥生時代を選んだ理由は、邪馬台国がどこにあるのか知りたいからです。未だに邪馬台国の場所が分からないので、弥生時代に生きていたら、石などに書いておけるからです。そして、まだ他にも理由があります。それは、弥生時代の食生活が気になり、食べてみたいと思うからです。

弥生時代には中国から米作りが伝わったので、こういうものを食べていたのが気になります。そして、こういう生活をしていたのか分からないから、くわしく知りたいです。

他にも、縄文時代も古墳時代もあったけど、縄文時代は食べ物不安定だし、古墳時代は古墳を造らされるから、一番いいのは弥生時代です。

□「弥生時代に生きていたら」川原ことみ

もし私が弥生時代に生きていたら、村の人と協力して米作りをしていたと思います。なぜなら、米作りを手伝わないと、ご飯が食べられなくなるからです。

でも、私が米などのことで争いをするのはいやです。争いで負けたら亡くなるかもしれないし、米づくりの道具や米も取られたりされるかもしれません。

勝ったら、米の道具や米などは取られなくな

るし、殺されたりしなくなるので勝った方が得です。

古墳時代も飛鳥時代も争いがあつたので、どっちもこわい時代だなと思いました。でも、後の時代でも、村と村の争いがあつたり、国と国との争いがあつたりしているので、その時代に生きていた人たちはかわいそうだと思います。だから、今の時代に生きていてよかったです。

【考古学のお話⑧】―日本人と犬―

千葉県船橋市の高根木戸貝塚(五五〇〇〜四〇〇〇年前)犬の骨が見つかりました。縄文時代の遺跡です。推定十二歳(人間なら八〇歳)という年老いた犬の骨が見つかったのです。その骨は、食べられた後のように、バラバラに見つかったのではなく、きれいにそろっていて、ていねいにうめられています。その上、足の骨には、不自然にくつついたあとがありました。これは、何かの時に、けがをした犬を、治るまでに世話をし、長い間かわいがっていた証拠だとされています。

縄文時代の日本では、犬は狩りの時に役立つ、人間にとつては大事なパートナーとされ、大事にあつかわれていたようです。今の私たちと同じように、人間は犬をペットとしてかわいがっていました。ところが、弥生時代以降は、そうでもなかったようです。

新型コロナウイルスについて

— 今だからこそ知識を蓄えよう —

火曜日は、新型コロナウイルスについてのプレゼンを元にお話しました。テレビでたくさん報道があつて、今まさに身近な問題ですが、分かっていないことも多くあります。新型コロナウイルスとは一体何なのかを知ることからこの学習を始めました。

(一)「新型コロナウイルス」って何？

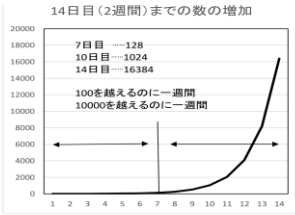
○生物と無生物の両方の性質を持つ。

○生きた細胞の中に入ったときだけ自分の仲間を増やす働きをする。

人に「うつる病気」のことを「感染症」と言いますが、その原因となるのは、「ウイルス」と「細菌」というものが大部分を占めており、今回の病気の元が「ウイルス」であるということが大きな点です。

(二)すごい勢いで増える「ウイルス」

最初に1個あつた細菌やウイルスが、毎日倍に増えていくとすると、2日目に4個なら、3日目に4×2=8個、・・・百をこえるのは、7日目(128)になり、一週間で一万を、十七日で十万、二十日で百万をこえます。すごい勢いで増えていくのです。



香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集「みんなで」第22号 2020.6.18(木)

(三)新型コロナウイルスの特徴

- ①この病気はウイルスが起こす
- ②このウイルスは肺でも増える
- ③このウイルスが今まで存在しなかった新型である

①細菌とウイルスとのちがいは？

ウイルスは、細菌の10分の1〜100分の1以下の大きさです。くしゃみやつばに入つて、人とうつり、細胞の表面で増えて広がります。

細菌：生物である。呼吸したり排せつしたり、子孫を残したりする。抗生物質を使ってやつけることができる。

ウイルス：生物と無生物の両方の性質を持つ。生きた細胞の中に入ったときだけへ自分の仲間を増やす働きをする。下手に薬を使うと健康な細胞も殺してしまう。

感染した人は、免疫の力を高め、自分の体の中にいるウイルスと闘います。その働きて症状が重くならず回復していくことができます。ウイルスをやつつける「抗ウイルス剤」を作るのはとても時間がかかるので、「人とうつす」という機会を減らすことが第一です。

②肺でも増える
新型コロナウイルスが肺や気管支で増えると、十分に酸素を取り入れることができなくなり

ます。インフルエンザは抗生物質で治りますが、新型コロナウイルスの場合は薬がないので、酸素吸入をしたり、重い場合は「人工心肺」を使つたりして治療をします。

③新型コロナウイルスのやつかない性質
新型だから、免疫がなくて、簡単に感染してしまいます。ウイルスはどのような動きをするのか予想がつかないのです。

また、鼻やのどの辺りで終わつていて症状が出ない場合や、肺に症状が出る場合など様々ですが、ウイルスに感染している限り、ウイルスを他人に感染させる場合があつて、とてもやつかないのです。

(4)私たちが気をつけなければならないこと
わからない未知ウイルスなので、気をつけることは？

- ①3つの密(密閉空間 密集・密接)をさける。
- ②手洗い
- ③せきエチケット
(マスク・ハンカチでおおう)
- ④日ごろの健康管理
(体力をつける。
具合が悪かったら休む)



・私は、自分は感染していないから大丈夫だと思っ
ていたけど、感染しても症状が出ない場合があ
ると聞いて、やっぱり手洗いやうがいには感染しな
いために大切だから、しっかりしようと思いまし
た。マスクをしてもウイルスは入って来るの
で、なおさら手洗いは大切だと知りました。

(菅野)

・マスクで細菌は防げないと知って驚いたけど、マ
スクをなぜつけないといけないか、理由を知れて
よかったです。新型コロナウイルスにならないために、三
密をさけて、しっかり手洗い、うがいをして気を
つけたいです。

(西野)

・細菌とウイルスは同じだと思っていたけど、大
きさも全く違うし、こっちが生物だとか、違うと
か知れて良かった。コロナは今では、ちよつと気が
ゆるんでいたけど、改めてしっかり予防しようと
思った。

(佐藤こ)

・新型コロナウイルスが身近な事は分かっていた
けど、ウイルス自体のことは、余り知りませんで
した。ウイルスは細菌とちがって、ずっとずっと小
さいことや、抗生物質が効かないことや、かんた
んに人にうつしてしまうことなど、ウイルスは本
当にやっかいなことが分かりました。

(堀川)

・自分には症状が出ていないだけで、コロナウイル
スに感染しているかもしれないと思うところわ
くなくなった。コロナの薬がまだ開発されていないから、
余計に不安に感じた。第二波が来るかもしれない

いから、コロナが一度収まっても、油断はできない
なと思った。手洗いやうがいはこれからもしっか
りして、マスクもしっかりつけていこうと思った。

(井上)

・今までは、とりあえず手洗いやうがいやせきエ
チケットをしてきたけど、今日の授業で、改めて、
どれだけかわいものなのか、分かって、今まで以
上に気をつけたいと思うようになりまし。自
分がならないためにもだけど、自分が人にうつさ
ないように意識を高めて、コロナがもう少し落ち
着くまで、みんなで乗りこえられるようにがん
ばりたいです。

(澤田)

・ウイルスはマスクのあみ目よりも小さいと言っ
てを知った。だから、うっさないう、うっさな
ないようにしたい。そのためには、手洗い、せきエ
チケットをする。未来には、細菌やウイルスを防
ぐ道具があったらいいなと思った。

(川原)

・新型コロナウイルスが危ないのは知っていたけど、
どのような増え方のかは、細菌とウイルスとの違
いなどが分かった。これからも、ウイルスに感染す
るかもしれないので、感染予防はしっかりとしま
うと思った。

(磯田)

・コロナウイルスは感染力が強いから、手洗いをい
つもよりしていねいにしています。マスクでは自分
が感染しないようには出来ないけど、自分から他
の人に感染しないようにすることはできるので、
出来るだけマスクはつけておかないといけないと思
いました。

(久保)

【考古学のお話⑨】—日本人と犬のお話—

狩りの生活をしてきた縄文時代の遺跡から、
犬の骨は一頭が完全な形で出てきます。死ん
だ犬は、人間と同じようにまつられたのでし
た。縄文人は犬をペットとして、他の動物とは
ちがう特別な扱い方をしていました。

しかし、その後の時代は、必ずしもそうでは
なかったことがわかります。広島県福山市の草
戸町の遺跡からは、鎌倉や室町時代の多くの
動物の骨が見つかっています。歴史では、鎌倉
や室町は、奈良時代よりも後で、武士があら
われて政治を行うようになった時代です。

この遺跡からは、牛、馬、日本ジカ、犬の骨が
見つかっているのですが、見つかったうちの約半
分が犬の骨だったのです。そして、出てきた犬
の骨は、前足のうでに当たるところの骨、ふと
もも、ふくらはぎなどが多く、指の骨などは少
ないのです。つまり、肉のつく部分の骨が多く
見つかっているのです。また、骨には、どう体と
足を切りはなす時についたきずや、骨の表面に
は、肉をそぎおとす時に残った長いきずもあり
ます。さらに火であぶったこげめなどもつい
ています。

また、十三世紀のごみあなから見つかった犬
の骨からは、左前足四本、右前足三本というふ
うにまとまって捨ててあり、犬の足音たばねて
売りに出されていた可能性が高いと言われて
います。

これらのことから、当時(鎌倉や室町時代)
の日本人が犬の肉を食べていた事実がわかっ
たのでした。縄文時代の扱い方とはとは大き
なちがいがいと言えます。



大仏の横には柱に大きな穴があいています。この穴は、大仏殿の柱をいかに組んで川で運んだとき、木をしぼるために開けた穴だと聞いたことがあります。けど本当は何のためにできた穴なのかな？知っておられる方は教えてください。

香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集 「みんなで」 第23号 2020.6.19(金)

奈良時代のまとめ
(七二〇～七九四)



東大寺の大仏殿が奈良時代を代表する建造物ですが、あれだけ大きな大仏を造るには多くの人手がいったことを学習しました。聖武天皇が多くの農民を働かせて、十年の歳月をかけて大仏を造ったのは、仏教の力をかりて国を治めようとしたからです。それだけ国が乱れていたということが言えます。

- ・土地(口分田)から逃げ出す農民が増えた
 - ・長屋王の自殺に見られる天皇の位をめぐる争い
 - ・病気の流行やききん
 - ・地方での反乱
- などいかに乱れた世の中であつたことがわかるでしょう。

七五二年大仏開眼供養が行われます。ばく大なお金と労働により、大仏が造られ、仏教の力により国の乱れはおさまったかのように思えました。

- しかし、大仏ができてわずか四〇年後に平安時代になることを考えれば、そううまくはいかなかったと言えるでしょう。
- 相変わらずの皇位争い
- ・仏教を保護したばかりに、僧侶が政治に口出しし、道鏡のように天皇の位につこうとする者まで出てくる。
- 平城京に人口が集中し、下水の施設がないので(川でトイレをしていた)、ゴミの問題も出

て、病気がおこった。(今も昔もゴミ問題って大きな都市問題ですね)
結局、奈良の都をすてて、京都に都をうつすことになったのでした。



☆みんなの感想から

・奈良時代は、特に中国の技術、仏教などが日本に伝わり、今の仏像のほとんどと関係の深い時代だと思えました。正倉院の宝物には、たくさんのお国で作られた物が集まっています。とても美しかったです。正倉院の中にある他の宝物も見たいです。

(佐藤心)

・奈良時代に、八角鏡や琵琶など、いろいろな宝物があつて、こんなにもきれいな物が残っているんだなと思います。聖武天皇が琵琶をひいたと知り、どんな気持ちだったのだろうと思いました。

(倉谷)

・平螺鈿背八角鏡には、色々な宝石や貝が使われていて、わずか1mmと聞いて、そんなに小さいんだと思えました。また、鑑真が命をかけて日本に来たのは、それほど日本に仏教を正しく伝えたかったのだと思えました。

(菅野)

・聖武天皇は、伝染病や地震、貴族の反乱など、色々な事がありながら、仏教で国をたて直すことが、すごいなと思いました。他の天皇と比べると、色んな困難を乗り越えているから、これからもっと聖武天皇のことをくわしく知りたいです。

(渋谷)

・正倉院にはなぜこんなに宝物がたくさん残っているのだろうと思った。聖武天皇がなぜ大仏を造ったのかが知れてよかったです。

(井阪)

・鑑真は日本に来るまでに何度も失敗して、両目も見えなくなっているのに、あきらめずに日本を目指しているのがすごいと思った。正倉院の中にある宝物は、長い歴史に守られているなんてすごいと思った。織田信長も足利義政も、蘭奢待の木を少しだけもらっただけで、満足したのだろうか？

(戸川)

みんなの日記がっ



□「もしぼくが弥生時代に生きていたら」

倉谷光羽

ぼくが弥生時代に生きていたら、弥生土器やお米を作っていたりしていたのかなと思います。たて穴住居に住んでいたのかと思います。戦争があつて、もしかしたら戦争に参加して戦っていたのかもしれない。弥生時代の人としやべつて、米作りを教えてもらったりして、弥生時代に生まれたら、今よりいろんなことをしていたと思います。

□「もし弥生時代に生きていたら」

久保日香莉

もし私が弥生時代に生まれていたら、してみたいことがあります。

一つ目は、卑弥呼に会ってみたいと言うことです。なぜなら、卑弥呼と会ってしゃべれたら、邪馬台国の位置や、ほんとに占いができていたのかなどわかるからです。それがわかって、今考えられていることがあったら、今まで言われていた歴史が変わって大変だと思いました。

二つ目は、弥生土器を作ってみたいです。でも、私は良い土器の作り方をよく知らないのので、難しかったら作れないかもしれないと思います。

でも弥生時代に行くのはちょっとこわいです。なぜなら、弥生時代には、争いがあるからです。お米の取れるところや、取れないところに差が出て、土地の取り合いなどになると争いが起きるからこわいです。

弥生時代がどんな時代だったのかをはっきりとはわかりませんが、行けるなら昔に行ってみたいです。

□「もし私が旧石器時代に生きていたら」

八田菜愛

私は、旧石器時代に生きていたら、やりたいことがあります。

まず、どんな生き物がいるのか知りたいです。まだ、知られていない動物などがいると思うので、そんな生き物を見てみたいです。

次に、狩りしてみたいです。学校の授業を聞いていて、大変だと分かったけど、実際にどれだけ大変か分からないので、狩りをやってみたいと思います。

最後に、素潜りをしたいです。素潜りは、今の時代でも、やろうと思えば出来ますが、昔の魚と今の魚はどうかうのか見みたいです。

今は、食べたい物を買って食べたりできますが、昔はできず、何でも自分でやらなければならないといけなると知りました。まだ知らないことがたくさんあるので、学習していきたいです。

【考古学のお話⑩】—日本人と犬のお話—

『犬の日本史』と言う本には、日本人と犬のかかりあいについて書かれてあります。今回からこの本から犬のお話です。

犬というのはオオカミを家畜として飼って犬になったものです。オオカミは集団で行動するので、人間が狩りなどをするときその習性を使うと都合がよかったことから、オオカミを家畜化して犬にしたのでした。牛や馬やニワトリは弥生時代に朝鮮半島から伝わっています。ブタは縄文時代からいたそうですが、完全には家畜になっていなかったようです。よって、縄文時代は犬だけが家畜だったようです。

さて、縄文時代の犬(縄文犬)が、どこから来たのかということですが、これも、犬を研究する学者たちによって明らかにされています。今日本にいる犬と西洋種、韓国や台湾の犬、九〇種四千匹の犬の血をとってその遺伝子を調べた所、日本に入ってきた犬はすでに、家畜だったということがわかりました。そして、入ってきたルートですが、まず、中国の南の地方や台湾の犬に近い南方系の犬がまず日本にもたれられ、その犬が北海道まで行き渡ったあとに、別の種類の犬が北の方から朝鮮半島を経てやってきた。そして、本州や九州・四国では犬の混血が進んだようです。一方、北海道や沖縄の犬はあまり混血しなかったようです。

この話を聞いて何か気づくことがありませんか？そう、縄文人と弥生人の関係と同じなのです。と言うことは、縄文人や弥生人は、犬と一緒に日本にやってきたということ、犬も人間と同じように混血がすすんだと言えます。